

山口経済レポート

INTERVIEW

(有) 木阪賞文堂
木阪泰之代表取締役社長



金魚ちょうちんを柳井市のアイコンとして、認知度を高めていきたい。柳井市への移住キャンペーンを首都圏で行う時に、グッズとして「金魚

ちょうちんメモ帳」を制作した。メモ帳に市の説明と「住みよさランキング2015」の中・四国で第2位になっていることなどを盛り込んだ。移住希望の相談件数が増えたと知り、文具店としてやりがいを感じた。現在は今秋開催の柳井まつりに向け、「柳井音頭」が流れる金魚ちょうちんメモ帳を制作している。

文具の商品開発の実績を活かし、他の地域の特産品を活用する商品開発のコンサルティング業にも取り組んでいく。

— 今後は

市内の事業所と金魚ちょうちんを組み合わせた商品開発ができれば。ふるさと納税推進事業にも参画していく。

金魚ちょうちん文具で柳井市を知ってもらい、観光はもちろん移住に向けても、できる範囲でサポートしていきたい。

△メモ▽

本社は柳井市中央3-278
— 2. 資本金1,000万円。
従業員9人。

柳井ファーマーズマーケット

10月11日、フラワールンド

「第7回柳井ファーマーズマーケット」が10月11日、やま

ぐちフラワールンドで開かれる。時間は9時〜16時。当日は入園無料。

地元農産物や加工品販売、50食限定の自然薯汁(1杯1

50円)、新米おにぎり試食会等がある。柳井駅から無料シャトルバスが運行。問い合わせは市農林水産課、TEL0820-221211内線353。

挑戦 シリーズ ①74 山口県内の経営トップに聞く

創業は明治27年で、文具やおフィス用品販売を事業とする。柳井中央店と白壁店がある。

— 120年以上の歴史があるが、いつから社長に

平成13年に就任した。私で4代目。身の丈に応じた経営を心がけている。

— 平成15年に業界として、県初の環境マネジメントに関する国際規格ISO14001を取得しました

— 当時は文具や事務用品の環境配慮型商品の販売率が全国的に約3割だったが、当社は約4割を占めた。グリーン購入法の施行に伴い、適合商品を販促する一環として取得した。

— 「金魚ちょうちんリングノート」などが柳井市地域ブランドに認証されています

— 以前から商品の方向性を検討していて、どこにもあるもの

ではなく、当社でしかできないものを考えた。柳井市と言えば白壁の町並みに金魚ちょうちん。県内外、国外にPRできればと商品開発を手がけた。

平成23年に柳井市地域ブランドの取り組みが始まり、エントリーした。今では金魚ちょうちんをメインにノートをはじめ、蒔絵ペン、マスキングテープなどアイテムが約200になった。

— 男女共同参画推進事業者に承認されています

女性スタッフが多く、女性が働きやすい環境を思っている。学校行事などに仕事の関係で出席できないことが無いように、就業規則などを配慮している。

— 昨年、「こ当地文具で新市場開拓と地域活性化」で経営革新計画企業に承認されました



商標登録証